

第5回学習会

コロナ禍における人事評価と処遇

コロナ禍で経営が悪化している病院において、収入の50%以上を占める人件費の問題と雇用の確保は、経営を左右する最重要課題と言えるのではないのでしょうか。その課題解決の1つの方策として、人事・賃金制度を見直すことが考えられます。

そこで、職員の育成・定着と組織のパフォーマンスを上げるための人事評価の仕組みと運用について考えるとともに、コロナ禍における処遇のあり方についても考える機会にしたいと思います。

アカデミア 看護研究会とは？

看護職をはじめ医療にかかわる皆様が、就業継続をしながら学び続ける機会を提供します。研修会、講演会、ワークショップ、研究討論などを通し、情報交換や会員相互の親睦を図ります。



日時

1月15日(金)

20:00~21:00

参加費 無料

対象

- 看護職をはじめとする医療にかかわる方々
- 学生や休職中の方々も参加OK
- 有資格者でなくてもOK
- 医師・歯科医、介護・福祉関係の方もぜひご参加ください

お申込み

まずはアカデミア看護研究会に会員登録(無料)していただき、お申込みください。

準備ができ次第、事務局からZOOMのURLをご連絡いたします。

●アカデミア看護研究会の活動のご紹介

定例会 隔月 第1金曜日 20:00~21:00 隔月①学習会、②支援会を交互に開催いたします。

学習会: 順次、労務管理、人事管理、人事考課、労務環境と身体との関係、医療現場のICT化の最先端情報、医療現場のAI化の最先端情報海外事情の他、リベラルアーツの学習や本の読み方など、多彩な講師陣を予定しております。

プログラム

1. コロナ禍における人事理念
職員の努力を称える風土と、職員の安全と命を守る職場を作る
2. 人事評価の仕組みと運用
 - ①課題解決に向けた目標管理と行動評価のあり方
 - ②目標達成結果とその原因分析からの職員の育成、および上司と部下とのコミュニケーション
3. コロナ禍における新たな賃金制度
 - ①部門業績を反映させる賞与および昇給(組織貢献=報酬)
 - ②非常事態下における処遇のあり方

講師

株式会社 ToDoBiz 代表取締役

篠塚 功 氏



1982年東洋大学法学部卒業、医療法人財団河北総合病院(現、社会医療法人河北医療財団)入職、財団本部人事課長・事務次長、総合病院本院・分院事務部長、公益財団法人日本医療機能評価機構事業部長(出向)等を経て、2008年8月ToDoBiz設立、2016年6月に法人化。病院や大規模クリニック、介護施設等の人事制度構築のコンサルティングを行っている。他に、産労総合研究所附属日本賃金研究センター主任研究員、NPO法人メディカルコンソーシアム・ネットワークグループ理事、看護職の採用と定着を考える会理事

<連絡先>

アカデミア看護研究会会長

中島美津子(m-nakashima@thcu.ac.jp)

会員登録係

山田 恵子(k-yamada@thcu.ac.jp)

●会員登録のご案内
<http://ns-aca.com/join/>

←会員登録がまだ
の方はこちら

●第5回学習会の詳細・お申込み
<http://ns-aca.com/学習会/20210115/>



アカデミア看護研究会

検索

